

えんど久子市議 常任委員会視察

岡山県
笠岡市
にて

市民後見人制度を勉強



笠岡市役所にて市民後見人について説明を受ける。

2014. 5. 22.

親亡き後の問題解決に

猿渡（えんど）久子市議は、市議会厚生環境教育委員会の視察で、5月21日～23日、兵庫県小野市・岡山県笠岡市・山口県下関市を訪れ、視察研修しました。

鶴瓶の「家族に乾杯」で紹介された岡山県笠岡市で視察研修中では市民後見人制度を勉強。共に生きる条例の実践として、親亡きあとの問題解決のためにも必要ではないかと、とても勉強になりました。

低所得の方にも

市民後見人とは、一般市民による成年後見人です。認知症や知的障害などで判断能力が不十分になった人に親族がいない場合に、同じ地域に住む市民が、家庭裁判所から選任され、本人に代わって財産の管理や介護契約などの法律行為を行うものです。

2012年4月老人福祉法が改正され、市町村及び都道府県には市民後見人の養成について努力義務が課せられるようになりました。笠岡市では、この改正前から、低所得の方も利用しやすくと市民後見人の養成に取り組んでいます。



5月23日は下関市立図書館を視察。図書館閉館時でも本が借りられるシステムなどを視察しました。

別府市議会HPで本会議の録画をご覧ください。日本共産党別府市議団やえんど久子のHPもご覧下さい。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
Tel 0977-22-6576

No.605
2014. 5. 28.

全国 小さくても輝く

自治体フォーラム

地元のあるもの探しを

平野文活・えんど久子
両市議は、5月24日2
5日に九重町で開かれた
「全国小さくても輝く自
治体フォーラム」に参加
しました。

記念講演は、地元学ネッ
トワーク主宰の吉本哲郎
氏。「町や村を元気にす
る地元力のすすめ」と題

し「地元のあるもの探し
から始めよう。遊んで冗
談言わないと創造力はで
きない」と吉本氏。

水俣を長年のご苦勞の
末に環境の町に変えた中
心人物です。全国の地元
を知り地元を元気にとい
う素晴らしい実践がたく
さん紹介されました。



分科会のあと夕食交流会までの合間に、九重
夢大吊橋に。交流会では、北海道から職員を連
れて参加された町長さんなど多くの方と交流で
き、とても有意義でした。

2014. 5. 24.

人口250人の村も元気

25日にはシンポジウ
ムがあり、地元九重町の
坂本町長をはじめ、5人
の方が登場。

宮崎県西米良村は高齢
化率42%。花咲じいさ
んプロジェクトなどなど
自然をフル活用した様々
な取り組みが紹介されま
した。「朝風呂会で92
歳のおばあちゃんも元氣
に風呂掃除など、地域が
元氣になっている。そこ
が好きになれば必ず『が
んばろう!』と思っても

「らえる」と黒木定蔵村長
は語りました。H22年
には748人になるとの
予想を跳ね返し現在12
49人の人口。「流れに
竿さすことはできる。来
月赤ちゃんが生まれる」
と村長。口蹄疫などあつ
たものの年14万以上の
観光客だそうです。

道州制が言われる中、
小さい自治体だからこそ
の元氣な取り組みを学ぶ
ことができ、大変勉強に
なりました。

